

公共交通事業者等からの移動等円滑化実績等報告書の集計結果概要 (平成20年3月31日現在)

バリアフリー新法に基づき、公共交通事業者等は毎年5月31日までに移動等円滑化実績等報告書を提出しなければならないこととなっている。今回の集計結果は旧交通バリアフリー法が施行されてから8度目の報告をとりまとめたものである。
各事業者からの報告書の集計の概要は以下のとおり。

○ 旅客施設(1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上のもの)

〈段差の解消〉

旅客施設全体 ...67.5% (H18年度末63.1%)

	総施設数			移動等円滑化基準(段差の解消)に適合している旅客施設数			全体に対する割合	
	H19年度末	対前年度比	H18年度末	H19年度末	対前年度比	H18年度末	H19年度末	H18年度末
(目標値:100%/H22年)								
鉄軌道駅	2,797	100%	2,801	1,881	107%	1,758	67.3%	62.8%
バスターミナル	40	95%	42	31	97%	32	77.5%	76.2%
旅客船ターミナル	9	100%	9	8	100%	8	88.9%	88.9%
航空旅客ターミナル	21	91%	23	16	107%	15	76.2% (100%)	65.2%

- 「段差の解消」については、バリアフリー新法に基づく公共交通移動等円滑化基準第4条(移動経路の幅、傾斜路、エレベーター、エスカレーター等が対象)への適合をもって算定。
- 航空旅客ターミナルについては、障害者等が利用できるエレベーター・エスカレーター・スロープの設置はすでに平成13年3月末までに100%達成されている。

〈視覚障害者誘導用ブロックの設置〉

旅客施設全体 ...90.9% (H18年度末88.3%)

	総施設数			移動等円滑化基準(誘導用ブロックの設置)に適合している旅客施設数			全体に対する割合	
	H19年度末	対前年度比	H18年度末	H19年度末	対前年度比	H18年度末	H19年度末	H18年度末
(目標値:100%/H22年)								
鉄軌道駅	2,797	100%	2,801	2,547	103%	2,483	91.1%	88.6%
バスターミナル	40	95%	42	31	111%	28	77.5%	66.7%
旅客船ターミナル	9	100%	9	7	100%	7	77.8%	77.8%
航空旅客ターミナル	21	91%	23	21	100%	21	100.0%	91.3%

- 「視覚障害者誘導用ブロックの設置」については、バリアフリー新法に基づく公共交通移動等円滑化基準第9条への適合をもって算定。

〈障害者用トイレの設置〉

旅客施設全体 ...59.6% (H18年度末52.6%)

	総施設数			移動等円滑化基準(障害者用トイレの設置)に適合している旅客施設数			全体に対する割合	
	H19年度末	対前年度比	H18年度末	H19年度末	対前年度比	H18年度末	H19年度末	H18年度末
(目標値:100%/H22年)								
鉄軌道駅	2,680	100%	2,678	1,593	113%	1,408	59.4%	52.6%
バスターミナル	32	97%	33	15	167%	9	46.9%	27.3%
旅客船ターミナル	9	100%	9	5	125%	4	55.6%	44.4%
航空旅客ターミナル	21	91%	23	21	95%	22	100.0%	95.7%

- 「障害者用トイレの設置」については、バリアフリー新法に基づく公共交通移動等円滑化基準第13条～15条への適合をもって算定。
- 総施設数については便所を設置している旅客施設のみを計上。

○ 車両等

	車両等の総数			移動等円滑化基準に適合している車両等の数			全体に対する割合	
	H19年度末	対前年度比	H18年度末	H19年度末	対前年度比	H18年度末	H19年度末	H18年度末
鉄軌道車両 (目標値:約50%/H22年)	52,476	102%	51,618	13,896	135%	10,309	26.5%	20.0%
バス	60,252	103%	58,735	22,578	116%	19,434	37.5%	33.1%
低床バス (目標値:100%/H27年)	—	—	—	22,578	116%	19,434	37.5%	33.1%
うちノンステップバス (目標値:約30%/H22年)	—	—	—	12,216	118%	10,389	20.3%	17.7%
福祉タクシー (目標値:約18000台/H22年)	—	—	—	10,514	109%	9,651	—	—
旅客船 (目標値:約50%/H22年)	932	99%	939	131	121%	108	14.1%	11.5%
航空機 (目標値:約65%/H22年)	504	102%	496	302	112%	270	59.9%	54.4%

- 「移動等円滑化基準に適合している車両等」は、各車両等に関する公共交通移動等円滑化基準への適合をもって算定。
- 平成19年度末のバスの総数は、現時点での速報値である。